

7人の特別講義プロジェクト&モーニング編集部・編著「ドラゴン桜公式副読本 16歳の教科書」  
講談社+α文庫、講談社 2016年4月20日刊を読む

## 開講の辞 なぜ学び、なにを学ぶのか

1. (1)① 16歳のきみに聞きたいことがある。

② きっときみはいま、「自分も高3になったら受験勉強して、どこかの大学に行くんだろ  
うな」と思っている。ひょっとすると、もうなんとなく志望校を決めているのかもしれ  
ない。

③ それできみは、なぜ大学に行くのだろう？

親や先生が行けというから？

友達も行ってるから？

高卒では就職に不利みたいだから？

(2)① もし、きみが「たったそれだけの理由」で大学に行くというのなら、行く意味なんかな  
い。

なぜなら、これらはすべて「自分の外にある理由」だからだ。

② 考えてみてほしい。親や先生、それから友達に自分の人生を決められるなんて、きみは  
それでいいのか？ おかしな話だと思わないのか？

そして「大卒じゃないと就職に不利だ」というのもウソだ。高卒はもちろん、中学卒業  
後に職人の世界に入り、そこから誰にも真似できないような素晴らしい業績を挙げている  
人は、世の中ゴマンといる。

③ 要するにきみは、「ただなんとなく、みんなそうしているから」大学に行こうとしてい  
るのだ。

そしてきみは「ただなんとなく、みんなそうしているから」勉強しているのだ。

あれほどきみたちを悩ませる国語も数学も英語も、そして理科も社会も、そんなあやふ  
やな理由で勉強しているだけなのだ。

(3)① もちろん、大人たちも勉強はする。

ビジネスマンがマーケティングの勉強をしたり、弁護士が法律の勉強をしたり、コック  
さんが新しいメニューの勉強をしたり。

② でもこれらは、彼らにとって今日の仕事、明日の仕事に必要な勉強ばかりだ。勉強する  
理由、勉強しなければならない理由は、しっかりとある。

③ だから大人たちは、国語も数学も勉強しない。せいぜい英会話スクールに通う程度で、  
物理や地理を勉強しようとする大人なんて、ほとんどいない。そんなもの、今日や明日  
の仕事には何の関係もないからだ。

2. (1) さあ、問題はここだ。

きみたちはなぜ、大人たちもしないような勉強をしているんだろう？

きみたちは学校で、なにを学ぼうとしているのだろう？

(2) もし、きみたちが高校3年生になったら、こんなことを考える余裕はなくなる。その時間があつたら、ひとつでも多くの単語を覚え、ひとつでも多くの計算式をこなすことが求められるようになる。

(3) だから、16歳といういま、きみたちに真剣に考えてもらいたい。自分が勉強する理由、そして自分が勉強するものの正体を。

3. (1) 『ドラゴン桜』の舞台である、我が龍山高校には、素晴らしい教師陣が揃<sup>そろ</sup>っている。国語の芥山龍三郎、数学の柳鉄之介、英語の川口洋、理科の阿院修太郎、そして社会科の桜木建二だ。

(2) 今回は、この教師陣の紹介のもと、全国からさらに素晴らしい超一流の講師陣に集まっていた。いずれも本を出せばベストセラーとなり、塾を開けば欠員待ちの行列ができ、テレビや雑誌にも引っ張りだこのスペシャリストたちばかりである。

(3) そして彼らに、特別講義を開講していただいた。

テーマはズバリ「なぜ学び、なにを学ぶのか」である。

①なぜ、国語を学ぶのか。数学なんか勉強して、なんの役に立つのか。英語なんか翻訳機があればいいじゃないか。物理を知って、なにが変わるというんだ。社会のことなんて、どうでもいいじゃないか。

そんな思いは、この特別講義の終了後、すべて吹き飛んでしまうだろう。

②16歳のきみたちは、もう子どもではない。

そして残念ながらまだ、大人ともいえない。

③子どもの季節が終わり、大人の人生が始まったいま、きみたちに本書を贈りたい。

この一冊には、きみの人生を変えるパワーがある。

龍山高校 特進クラス担任 桜木建二 さくらぎけんじ

P3 ~ 7

## <コメント>

「モーニング」連載の「ドラゴン桜」第2編が、本年4月からTBS日曜劇場に再登場。人気を博しています。本書は「モーニング」編集部によるTV番組の副読本として、すべての受験生と受験指導を担当する学習塾、予備校、中学、高校の先生方の「副読本」として、是非何回もお読みください。自分なりに工夫すれば、必ずお役に立ちます。

2021年5月30日(日)林明夫